

2020年12月18日

## 朝日カルチャー 野外の自然観察

### 鹿家から福吉海岸「旧唐津街道を歩く」

2020年12月18日(金) 10:00 出発 昨日までの厳しい寒気が緩んで穏やかな観察会日和となりました。

最初の計画では、JR 筑肥線の鹿家駅から福吉駅に向かって海岸沿いを歩くという予定でしたが、予備調査の結果、安全に歩けるコースではないと判断し、あちこち歩きまわってルート探しをし、山越えをして「旧唐津街道を歩く」というテーマに変更しました。ここを歩きながら樹木などの自然観察をします。

唐津街道は、豊臣秀吉が朝鮮出兵の時、名護屋城に行くために通った道で、江戸時代には唐津藩や平戸藩の大名が参勤交代で通った道でもあるとのこと。最高地点の立花峠まではゆっくり上り峠からはひたすら下ります。昔、小学生の通学路でもあったそうです。

鹿家駅の広場に、サーフィンをする人たちが沢山準備をしていました。糸島地域は温暖な気候なので民家の庭にある植物も南国風です。ストレリチアの花やブーゲンビレア、アロエの花も沢山咲き、何と、道路わきの畑ではツクシも並んでいました。

小高い場所にある寺にイチョウの大木があり、葉はすっかり散り落ちて太い幹や大きく広げた枝は、長い年月生きてきた存在感があります。同じ境内にあるナラガシワの大木はまだ黄褐色の大きな葉をたっぷりと纏っていました。

フウトウカズラやハナミョウガ、アオキなどの赤い実はよく目立ちますがツルソバやイワガネの実はたくさんついているけれど地味です。ヤブツバキも赤い花と少し暗い色をした花に出会いました。



途中で立ち寄った白山神社では、日露戦争凱旋記念に植えたという記念碑のあるクスノキやムクロジ、イチョウなどの大木を見、ハマビワなども混じる常緑樹の森沿いの道を登り、峠からはシマカンギクの残り花やビワの花などを眺めて、13:00 福吉駅に到着しました。

溝口 記